

- 問1 1549年にフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸して日本に伝えたキリスト教について、その宗派と布教を担った組織の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. プロテスタント — イエズス会 2. カトリック — 十字軍 3. カトリック — イエズス会 4. プロテスタント — 清教徒 (ピューリタン)
- 問2 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
1. 明治政府が近代的な国家を建設するために、西洋の法制度を取り入れて国民の権利を定めようとしたから 2. 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから 3. 江戸幕府が大名たちの婚姻や城の修理を制限し、全国の諸大名を統制しようと考えたから 4. 鎌倉幕府が御家人たちの領地争いを裁判によって公正に解決し、武士の支持を集めようとしたから
- 問3 1549年に鹿児島へ上陸し、日本に初めてキリスト教を伝えた宣教師について、彼の所属組織と人物名の組み合わせとして正しいものはどれか。なお、この人物は後に山口などでも布教を行い、胸の前で手を合わせる姿を描いた肖像画のモデルとしても広く知られている。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
1. イエズス会 — ルイス・フロイス 2. フランシスコ会 — フランシスコ・ザビエル 3. イエズス会 — フランシスコ・ザビエル 4. フランシスコ会 — ヴァリニャーノ
- 問4 15世紀末のヨーロッパでは、肉の保存や調味に不可欠な香辛料をイスラム勢力を介さず直接入手することが求められていました。この背景の中、ポルトガルの支援を受け、アフリカ大陸南端の喜望峰を回りインドへ到達する航路を切り開いた人物は誰ですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. コロンブス 2. マゼラン 3. マルコ=ポーロ 4. バスコ=ダ=ガマ
- 問5 室町時代後半から戦国時代にかけて、各地で勢力を強めた戦国大名は、家臣や領民を統制し、自らの領国を独自のルールで支配しようとした。このように、戦国大名が領国支配のために独自に制定した法律を何といいますか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法 2. 御成敗式目 3. 分国法 4. 武家諸法度
- 問6 加賀の一向一揆が、同時期に発生した「土一揆」などの他の社会運動と異なり、守護大名を倒して約100年もの長期にわたる自治を維持できた最大の要因として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 高知県公立入試 類似)
1. 守護大名が自ら権限を放棄し、農民たちに土地の所有権と徴税権を全面的に譲渡したから。 2. 加賀国においてのみ、鉄砲などの新式兵器を導入するための自由貿易港が独占的に認められていたから。 3. 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。 4. 惣村と呼ばれる村の自治組織が、室町幕府の将軍から直接的な軍事的支援を受けていたから。
- 問7 越前国の戦国大名である朝倉氏が、拠点である一乗谷を中心とした領国支配を強めるために実施した政策の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. 室町幕府の法令のみを遵守させ、独自の法による支配を一切行わなかった。 2. 家臣を一乗谷に集住させ、領内に勝手に城を築くことを禁止した。 3. 一乗谷を商業専用の都市とし、家臣が居住することを厳しく制限した。 4. 家臣をそれぞれの所領に住まわせ、各地に防御のための城を自由に築かせた。
- 問8 ヨーロッパからアジアへ向かう海上航路において、アフリカ大陸の南端に位置し、中継地点として重要な役割を果たした場所の名称として正しいものはどれですか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. マゼラン海峡 2. 喜望峰 3. スエズ運河 4. パナマ運河
- 問9 日本地図において、中国地方の日本海側に面した島根県に所在し、かつて「灰吹法」という技術を導入して生産量を飛躍的に高めた銀山を次の中から選びなさい。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
1. 生野銀山 2. 石見銀山 3. 足尾銅山 4. 富岡製糸場
- 問10 1543年、九州の南方に位置する種子島に漂着した中国船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. ポルトガル人 2. スペイン人 3. イギリス人 4. オランダ人
- 問11 石見銀山から産出された銀は、16世紀後半から17世紀初めにかけて世界の銀産出量の約3分の1を占めていたとも言われています。この銀山で生産を支え、日本の銀が国際社会へ大きな影響を与える要因となった技術的背景として正しいものを選んでください。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 足尾銅山鉱毒事件を教訓にした、公害を出さない最新の濾過技術が開発されたこと 2. たたら吹きという、鉄を精錬するための日本独自の製鉄法が応用されたこと 3. 灰吹法という、鉛を用いて銀を抽出する高度な精錬技術が導入されたこと 4. 明治維新以降、フランスの技術を取り入れた官営模範工場として整備されたこと
- 問12 1549年にフランシスコ・ザビエルが日本に上陸し、キリスト教を伝えた背景には、当時のヨーロッパにおける宗教情勢が深く関わっています。キリスト教が日本に伝えられるに至った直接的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。 2. 十字軍の遠征が失敗に終わったことで、キリスト教徒がイスラム教勢力に対抗するための同盟国を東アジアに求めた。 3. ルネサンスの進展によって人間中心の考え方が広まった結果、宗教の枠組みを超えた世界規模の文化交流が推奨された。 4. ルターが自身の教えを世界に広めるために組織を設立し、その活動の一環として日本が最初の布教先に選ばれた。
- 問13 16世紀のヨーロッパでは、ルターが免罪符（贖宥状）の販売を批判したことをきっかけに、キリスト教のあり方を問い直す大きな動きが起りました。この動きの名称と、その影響を受けてカトリック側で結成され、のちに日本へキリスト教を伝えた組織の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 宗教改革 — イエズス会 2. ルネサンス — 十字軍 3. ルネサンス — イエズス会 4. 宗教改革 — 十字軍
- 問14 戦国時代、石見銀山などの鉱山開発が各地で盛んに行われた背景として、戦国大名が銀を求めた主な目的について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 農村での貨幣経済を禁止し、年貢をすべて銀で納めさせるため 2. 朝廷から高い官位を得るための献上物として独占するため 3. 鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため 4. キリスト教の布教活動を支えるための寄付金として活用するため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 カトリック ― イエズス会	日本に最初に伝わったキリスト教は、ローマ教皇を中心とするカトリック教会の一派である「イエズス会」によるものでした。当時、ヨーロッパでは宗教改革によって新教（プロテスタント）が勢力を伸ばしており、これに危機感を抱いた旧教（カトリック）側のイエズス会が、アジアなどへの布教を通じて信者を増やそうとしていました。
問2	答え 2 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから	応仁の乱によって中央政府である室町幕府の権威が失墜すると、各地の大名は自らの力で領国を維持しなければならませんでした。領国内の紛争を解決し、家臣を団結させて軍勢力を高めるために、独自の法律が必要とされました。選択肢にある「武家諸法度」は江戸時代、「御成敗式目」は鎌倉時代、「明治の法制度」は近代のものです。
問3	答え 3 イエズス会 ― フランシスコ・ザビエル	16世紀のヨーロッパでは宗教改革が起こり、それに対抗する形でカトリック側は自己改革と海外布教を推進した。その中心的な組織がイエズス会であり、創立メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルが日本にキリスト教を伝えた。ルイス・フロイスは織田信長と交流し『日本史』を記した人物であり、ヴァリニャーノは天正遣欧少年使節の派遣を指導した宣教師であるため区別が必要である。
問4	答え 4 バスコ＝ダ＝ガマ	ポルトガルはアフリカ沿岸を南下する独自のルートを探索していました。1498年にこの人物がインドのカリカットに到達したことで、アジアとの直接貿易が可能になり、ポルトガルに莫大な富をもたらしました。
問5	答え 3 分国法	室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地の戦国大名は幕府の法律に頼らず、自分の領国（分国）を治めるための独自の法を定めました。これが分国法です。代表的なものに、武田氏の「甲州法度次第」や今川氏の「今川仮名目録」などがあります。これに対し、御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度は江戸時代に制定されたものです。
問6	答え 3 浄土真宗（一向宗）という宗教的な信仰を通じて、農民や地侍が極めて強固に団結していたから。	加賀の一向一揆の最大の特徴は、浄土真宗の信仰に基づく組織的な団結力にあります。各地の寺院を拠点に、武士だけでなく一般の農民までが教えのもとに結集したことで、従来の守護大名の支配を跳ね返すほどの軍勢力と政治力を持つに至りました。この宗教的なネットワークが、単なる不満による一時的な暴動（土一揆）とは異なる、持続的な自治体制を支える基盤となりました。
問7	答え 2 家臣を一乗谷に集住させ、領内に勝手に城を築くことを禁止した。	朝倉氏は一乗谷に家臣を集めて住まわせることで、家臣がそれぞれの領地で独立した勢力を持つことを防ぎ、主君による直接的な統制を強めようとしていました。また、家臣が勝手に城を築くことを禁じた点も、大名への権力集中を図る戦国大名特有の政策といえます。このような集住政策は、後の江戸時代の城下町の形成にもつながる先駆的な取り組みでした。
問8	答え 2 喜望峰	アフリカ大陸の最南端付近にあるこの地点は、ポルトガルの航海者バルトロメウ・ディアスによって到達され、のちにバスコ・ダ・ガマがここを通過してインド洋へと入り、インドへの航路を確立しました。大航海時代におけるインド航路の象徴的な中継地点です。
問9	答え 2 石見銀山	石見銀山では、鉱石から銀を取り出す「灰吹法（はいふきほう）」という技術が導入されたことで、生産量が急増しました。兵庫県の生野銀山や、愛媛県に位置し銅を産出した別子銅山などと混同しやすいですが、島根県という立地と、大航海時代の世界経済に影響を与えた規模の大きさが石見銀山の大きな特徴です。
問10	答え 1 ポルトガル人	16世紀半ば、東アジアに進出していたポルトガル人が、種子島に漂着した中国船に乗っていたことから、日本に初めて鉄砲がもたらされました。当時の種子島島主であった種子島時堯（ときたか）がこれを買取り、国産化を命じたことで、日本国内での製造と普及が始まりました。
問11	答え 3 灰吹法という、鉛を用いて銀を抽出する高度な精錬技術が導入されたこと	16世紀前半に博多の商人らによって朝鮮半島から伝えられた灰吹法（はいふきほう）は、鉛を使って鉱石から銀を取り出す画期的な精錬技術でした。この技術が石見銀山に導入されたことで、不純物の少ない高品質な銀の大量生産が可能になり、日本の銀が世界経済において大きな影響力を持つことになりました。選択肢にある「たたら吹き」は鉄、「官営模範工場」は富岡製糸場などに代表される近代化の動きを指します。
問12	答え 1 宗教改革によるカトリック教会の勢力衰退に対し、新たな信者を獲得するためにアジアなど海外への布教が重視された。	ルターによる宗教改革の影響で、ヨーロッパ内でのカトリック教会の勢力が弱まりました。これに危機感を抱いたカトリック側は、失った勢力を補い、教勢を回復させるために、大航海時代でつながったアジアなどの海外諸国へ積極的に進出しました。イエズス会の活動はこの一環であり、日本へのキリスト教伝来もその大きな流れの中に位置づけられます。
問13	答え 1 宗教改革 ― イエズス会	ドイツのルターが始めた宗教改革により、カトリック教会は大きな打撃を受けました。これに対抗し、カトリック教会の立て直しと海外布教を目的として結成されたのがイエズス会です。イエズス会の創立メンバーの一人であるフランシスコ・ザビエルによって、日本にキリスト教がもたらされました。
問14	答え 3 鉄砲や火薬などの軍需品を調達する資金や、家臣への恩賞とするため	戦国大名は、自国の軍勢力を強化するために多額の資金を必要としていました。特に種子島に伝来した鉄砲やその弾薬となる鉛、火薬の原料となる硝石を海外から購入するための支払い手段として、また功績のあった家臣への報酬として、銀は極めて重要な価値を持っていました。